

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	Allright仲町台教室		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 3日		2026年 2月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	2026年 3月 10日		2026年 3月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 27日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	1人1人の特性や性格、人間性を理解した上での丁寧な支援。 また公表しているプログラムと実際に行っている活動内容との一貫性。	特定のスタッフだけの分析や意見に捉われず、正社員からパートまで全スタッフによる意見交換や打ち合わせを。(多方面からの分析と最新の児童状況を把握したうえでの支援の実施)	職員間での情報共有や支援の振り返りを継続し、個々の理解をより深めながら、プログラム内容と実践の一層の質の向上につなげていく必要がある。
2	保護者様との関係性づくり	保護者会の開催や、保護者様・きょうだい児も参加できるレクリエーションの機会を設けることで、保護者様同士の交流や事業所との関係づくりを大切にしている。	より良い本人支援の提供には保護者様との相互理解と信頼関係が重要であると考えており、今後も継続して交流の機会や情報共有の場を設けながら、連携の充実を図っていく。
3	児童たちが楽しく通所できている	各職員が児童一人ひとりとの関係性づくりを大切にし、活動と一緒に取り組み、一緒に楽しみ、時には困難も一緒に乗り越える経験を積み重ねることで、安心して通所できる環境づくりに努めている。	児童の様子や関わり方について職員間で丁寧に共有を行いながら、支援者としての自覚を持ち、謙虚な姿勢でより良い支援の提供につなげていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動室の狭さ	活動内容やグループ分けを工夫し、安全面や落ち着いて過ごせる環境づくりに配慮しながら運営している。 また、屋外活動を頻繁に取り入れ、体を思い切り動かせるよう活動計画を行っている。	今後も活動内容の構成や空間の使い方を工夫するとともに、より過ごしやすい環境づくりに向けて改善に努めていく。
2	保護者の皆さまを対象としたペアレントトレーニングについては、十分に実施できていない。	日々の送迎時の情報共有や個別のご相談対応は行っておりますが、体系的な学びの機会としてのプログラム提供には至っていない。	保護者支援の充実を重要な取り組みの一つとして位置づけ、実施方法や内容を検討しながら、段階的に機会を設けていけるよう体制整備をおこなっていく。
3	地域連携の不足	日々の支援業務を優先する中で地域機関との交流機会の確保が難しいことや、連携の具体的な機会づくりが十分に行えていないことが要因として考えられる。必要に応じて関係機関との情報共有や連携を行いながら、地域資源の把握に努めていく。	地域の関係機関や児童関連施設との連携は十分とはいえないため、今後は交流機会や情報共有の場を広げ、児童の活動経験や支援に活かせるように職員間で協議していく。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		Allright仲町台教室		公表日		2026年3月30日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	2	活動室のスペースはやや限られているが、安全面を考慮し提示方法を工夫している。また、近隣の公園や屋外広場を活用し、粗大運動や感覚統合の機会を確保している。	活動内容や人数によっては空間の制約があるため、引き続き活動構成や環境設定を工夫し、安全かつ充実した支援につなげていく必要がある。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1	生活空間は視覚的な配置や動線を意識し、構造化された環境となるよう配慮している。	建物共有部分に外階段があるため構造上の制約はあるが、安全確保や人的支援により対応を継続していく必要がある。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	0			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	保護者向け評価表は毎年1回実施し、その結果はホームページ等で公表しています。また、いただいたご意見やご要望については内容を整理・検討し、支援内容や運営方法の見直しなど業務改善につなげています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	1	社会保険労務士、税理士、司法書士、弁護士等の外部専門職と連携し、制度運用や労務管理、契約関係等について専門的な助言を受けています。これらの第三者からの見解を踏まえ、事業所運営や体制整備の改善につなげています。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1			

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	1	放課後等デイサービス計画は、ガイドラインに示されている「本人支援」「家族支援」「移行支援」の視点を踏まえて項目を設定し、児童一人ひとりの状況や課題に応じた具体的な支援内容を記載して作成している。個別支援計画書をご確認いただくことで、これらの視点に基づいた支援項目が設定されていることを理解していただけると考える。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	活動プログラムは内容や実施方法、活動計画など複数職員で検討・調整を行っており、チームとして立案している体制となっています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1	送迎業務があり中々終礼の実施が難しいが、支援開始前には毎日必ず朝礼を行い、前日についてと当日についての申し送り、注意事項などを共有するようにしています。	支援前のみではなく支援後も共有ができるように業務の効率化を図っていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	8	0		
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	6	現在対象児は在籍していないが、移行支援が必要となった際には、これまでの支援内容や様子等の情報提供が行える体制を整えている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	4	自立支援協議会を活用し、研修を受ける機会を設けており、職員全員に共有することを行っている。	児童発達支援センターからのスーパーバイズや助言、研修の機会については十分に活用できていないため、今後は連携機会の確保を検討していく必要がある。
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	8	現時点では実施には至っていないが、地域資源の把握など連携に向けた検討を行っている。	放課後児童クラブや児童館、地域の子どもの交流機会については十分に確保できていないため、今後連携の強化を図っていく必要がある。	

	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	8	0	自立支援協議会は配置体制が可能な範囲で積極的に参加しています。所属の子ども支援部会が開催の際は、研修内容は支援の質の向上につながる重要な機会となっているため、可能な限り複数職員が参加できる体制を整えています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	3	プログラムとしてのペアレントトレーニングの実施には至っていないが、必要に応じて研修内容に関する資料提供や情報共有を行っている。	体系的な家族支援プログラムの実施には至っていないため、今後は研修機会の設定等も含め、家族支援の充実を検討していく必要がある。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	0		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	6	現時点では地域住民を招待する行事の実施には至っていないが、地域に開かれた事業運営に向けた検討を行っている。	地域住民との交流機会は十分に確保できていないため、今後は行事等を通じて地域とのつながりを深める取り組みを検討していく必要がある。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	2	各種マニュアルは作成済みであり、職員間で共有するとともに、避難訓練等も実施している。	家族への周知については十分でない部分もあるため、今後は周知方法を工夫し、理解の促進につなげていく必要がある。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1	保護者からの聞き取りや必要に応じた書面の内容をもとに注意事項を職員間で共有し、安全に配慮しておやつ提供等の対応を行っています。	医師の指示がある場合にはその内容に基づき対応し、保護者の意向も確認しながら個別に適切な配慮を行っています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0		

52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0		
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0		

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日:

事業所名: 放課後等デイサービス All right 仲町台教室

対象人数(保護者)20人 回答者数 16人 回収 80%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	3		2		室内スペースについてご回答をいただきありがとうございます。教室内は限られた広さではありますが、安全に配慮しながら活動スペースの確保を行っております。また、近隣の公園等を活用した外遊びの機会も取り入れ、子どもたちがのびのびと身体を動かせるよう工夫しています。今後もより良い環境づくりに努めてまいります。
	②	職員の配置数は適切であると思いますか。	13	1		2		当事業所では基準に基づき、適切な職員配置を行っております。今後も活動の様子や体制について、保護者の皆様に分かりやすくお伝えできるよう努めてまいります。
	③	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境(※1)になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	1		3		ご回答ありがとうございます。当事業所では、子どもたちが安心して活動できるよう、絵カードや写真などの視覚的伝達やパーテーションを使用した構造化など、分かりやすい環境設定や活動スペースの工夫を行うとともに、障害特性に配慮した環境づくりに努めております。今後も保護者の皆様に分かりやすくお伝えできるよう、情報発信や周知に努めてまいります。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	14	1		1		ご回答ありがとうございます。当事業所では、毎日床・机・椅子等の清掃や消毒、教材や玩具の消毒を行い、清潔な環境づくりに努めております。また、定期的に教室内の配置等を見直し、より過ごしやすい空間づくりに取り組んでおります。今後も安心して過ごせる環境づくりに努めてまいります。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
適切な支援の提供	⑤	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に 応じた専門性のある支援が 受けられていると思いますか。	15			1	
	⑥	事業所が公表している支援 プログラム(※2)は、事業所の 提供する支援内容と合ってい ると思いますか。	15			1	
	⑦	こどものことを十分に理解し、 こどもと保護者のニーズや課題 が客観的に分析された上で、 放課後等デイサービス計画(個別 支援計画)(※3)が作成されて いると思いますか。	15			1	
	⑧	放課後等デイサービス計画には、 放課後等デイサービスガイド ラインの「放課後等デイサー ビスの提供すべき支援」の「本 人支援」、「家族支援」、「 移行支援」で示す支援内容から こどもの支援に必要な項目が 適切に設定され、その上で、 具体的な支援内容が設定され ていると思いますか。	15			1	
	⑨	放課後等デイサービス計画に沿 った支援が行われていると思 いますか。	15			1	
	⑩	事業所の活動プログラム(※4) が固定化されないよう工夫さ れていると思いますか。	15			1	
	⑪	放課後児童クラブや児童館との 交流や、地域の他のこどもと 活動する機会がありますか。	6	1	2	7	ご回答をありがとうございます。現時点では交流の機会は多くありませんが、子どもたちの状況や安全面にも配慮しながら、地域との関わりや他の子どもたちと活動する機会について今後検討してまいります。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	⑫ 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15			1		
	⑬ 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15			1		
	⑭ 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	2		3		ご回答いただきありがとうございます。ご家族への支援や情報提供の機会の大切さを改めて感じております。今後は、保護者の皆様のご意見も参考にしながら、家族支援プログラムや情報提供の機会について、より充実できるよう検討してまいります。
	⑮ 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	15			1		
	⑯ 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14			2		
	⑰ 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15			1		
	⑱ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	11		2	3	・機会を設けていただきますが中々参加できないのが申し訳ないです ・レク大会を開催して頂き家族で参加することができたのでとても素敵な思い出になりました。	今年度は、ごきょうだいもご参加いただける親子レクリエーションを開催し、保護者様同士の交流の機会を設けさせていただきました。おかげさまで多くの方にご参加いただき、ご好評をいただいております。今後もこのような交流の機会を大切にしながら、継続して実施していきたいと考えております。
	⑲ こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14			2		
	⑳ こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15			1		
	㉑ 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	15			1		
㉒ 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15			1			

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の 対応	㉓	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	1		2		当事業所では、事故防止や緊急時対応、防犯、感染症対応等に関する各種マニュアルを整備するとともに、訓練も実施しております。周知・説明が徹底しておらず申し訳ございません。今後は保護者の皆様にもより分かりやすくお伝えできるよう、努めてまいります。
	㉔	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15			1		
	㉕	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思えますか。	15			1		
	㉖	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思えますか。	13			3		怪我等が発生してしまった際には、速やかに保護者様へお電話等で状況をお伝えさせて頂き、連携を取っております。と共に適切な対応と記録を行い、再発防止に努めております。今後も保護者の皆様に安心していただけるよう、丁寧な説明と情報共有に努めてまいります。
満足度	㉗	こどもは安心感をもって通所していますか。	14	1		1		ありがとうございます。お子様たちが安心して通所できているとの評価をいただき、大変嬉しく思います。今後も安心して過ごせる環境づくりと、丁寧な支援に努めてまいります。
	㉘	こどもは通所を楽しみにしていますか。	14	1		1		当事業所では、子どもたちが安心して楽しく通所できるよう、一人ひとりの興味や特性に配慮した活動や支援を行っております。今後も子どもたちにとって安心して過ごせる居場所となるよう努めてまいります。
	㉙	事業所の支援に満足していますか。	15			1		ありがとうございます。事業所の支援にご満足いただけているとの評価をいただき、大変嬉しく思います。今後も子どもたち一人ひとりに寄り添った支援を大切にしながら、より良い支援の提供に努めてまいります。

※1「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、こども本人がこの部屋で何をするのがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3「放課後等デイサービス計画(個別支援計画)」は、放課後等デイサービスを利用する個々のこどもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。こどもの発達状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせ実施されることが想定されています。

※5「ペアレント・トレーニング」は、保護者がこどもの障害の特性やその特性を踏まえたこどもへの関わり方を学ぶことにより、こどもの行動変容することを目標とします。

保護者等向け 児童発達支援評価表

公表日:

事業所名: 児童発達支援 All right 仲町台教室

対象人数(保護者)8人 回答者数 5人 回収 62.5%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3	2			少し狭いですが、近くの公園でしっかり遊んでいます。	室内スペースについてご意見をいただきありがとうございます。教室内は限られた広さではありますが、安全に配慮しながら活動スペースの確保を行っております。また、近隣の公園等を活用した外遊びの機会も取り入れ、子どもたちがのびのびと身体を動かせるよう工夫しています。今後もより良い環境づくりに努めてまいります。
	②	職員の配置数は適切であると思いますか。	4			1		当事業所では基準に基づき、適切な職員配置を行っております。今後も活動の様子や体制について、保護者の皆様に分かりやすくお伝えできるよう努めてまいります。
	③	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境(※1)になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	5					
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	5					

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
適切な支援の提供	⑤	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	5					
	⑥	事業所が公表している支援プログラム(※2)は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	4			1		支援プログラムは国の基準に基づき、事業所のホームページ等で公表しております。今後も内容がより分かりやすく伝わるよう、周知や説明に努めてまいります。
	⑦	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)(※3)が作成されていると思いますか。	5					
	⑧	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	5					
	⑨	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	5					
	⑩	事業所の活動プログラム(※4)が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	4			1		活動内容は固定化しないよう工夫しており、毎月のプログラム予定をHUGの活動記録にてお知らせしております。ぜひご確認いただければ幸いです。
	⑪	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2		1	2	特にないが必要ないと思う。	ご意見をいただきありがとうございます。現在は保育所や幼稚園等との交流の機会は残念ながらありませんが、保護者のお考えも大切にしながら、今後は地域との関わりや他のお子様との交流の機会についても、状況に応じて無理のない形で取り入れていけるよう検討してまいります。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
保護者への説明等	⑫ 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	5						
	⑬ 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5						
	⑭ 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1			1	3	もっと増やして頂きたいです。	ご意見をいただき、ありがとうございます。ご家族への支援や情報提供の機会の大切さを改めて感じております。今後は、保護者の皆様のご意見も参考にしながら、家族支援プログラムや情報提供の機会について、より充実できるよう検討してまいります。
	⑮ 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	4		1				
	⑯ 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3		2				
	⑰ 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5						
	⑱ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4				1		今年度は、ごきょうだいもご参加いただける親子レクリエーションを開催し、保護者様同士の交流の機会を設けさせていただきました。おかげさまで多くの方にご参加いただき、ご好評をいただいております。今後もこのような交流の機会を大切にしながら、継続して実施していきたいと考えております。
	⑲ こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5						
	⑳ こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3		1		1		当事業所では日々の活動記録や連絡、送迎時のやり取り等を通して、保護者の皆様やお子様との情報共有を大切にしております。今後もより分かりやすい情報提供に努めてまいります。
	㉑ 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	4		1			Instagramなど更新はあるがもっと多いと嬉しい。	「もっと多いと嬉しい」とのご意見をいただき、ありがとうございます。現在は発達ナビブログやInstagram等を通して活動の様子やお知らせを発信しております。今後も保護者の皆様に活動内容がより伝わるよう、情報発信の充実にも努めてまいります。
㉒ 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5							

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の 対応	㉓	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3			2		当事業所では、事故防止や緊急時対応、防犯、感染症対応等に関する各種マニュアルを整備するとともに、訓練も実施しております。周知・説明が徹底しておらず申し訳ございません。今後は保護者の皆様にもより分かりやすくお伝えできるよう、努めてまいります。
	㉔	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4			1		当事業所では、地震・火災・不審者対応等を想定した避難訓練を活動プログラムの中に取り入れ、2～3か月に1回の頻度で実施しております。活動予定や日々のサービス提供記録でもお知らせしておりますので、ご確認いただけますと幸いです。今後も継続して実施してまいります。
	㉕	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思えますか。	4			1		当事業所では、子どもの安全確保を最優先に考え、業務継続計画（BCP）等に基づき安全確保の体制を整えたうえで支援を行っております。今後も保護者の皆様に安心していただけるよう、安全に関する取り組みについて分かりやすい周知に努めてまいります。
	㉖	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思えますか。	4			1		怪我等が発生してしまった際には、速やかに保護者様へお電話等で状況をお伝えさせて頂き、連携を取っております。と共に適切な対応と記録を行い、再発防止に努めております。今後も保護者の皆様に安心していただけるよう、丁寧な説明と情報共有に努めてまいります。
満足度	㉗	こどもは安心感をもって通所していますか。	5					ありがとうございます。お子様たちが安心して通所できているとの評価をいただき、大変嬉しく思います。今後も安心して過ごせる環境づくりと、丁寧な支援に努めてまいります。
	㉘	こどもは通所を楽しみにしていますか。	4			1		当事業所では、子どもたちが安心して楽しく通所できるよう、一人ひとりの興味や特性に配慮した活動や支援を行っております。今後も子どもたちにとって安心して過ごせる居場所となるよう努めてまいります。
	㉙	事業所の支援に満足していますか。	5					ありがとうございます。事業所の支援にご満足いただけているとの評価をいただき、大変嬉しく思います。今後も子どもたち一人ひとりに寄り添った支援を大切にしながら、より良い支援の提供に努めてまいります。

※1「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、こども本人がこの部屋で何をするのがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3「児童発達支援計画（個別支援計画）」は、児童発達支援を利用する個々のこどもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。こどもの発達の状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせることで実施されることが想定されています。

※5「ペアレント・トレーニング」は、保護者がこどもの障害の特性やその特性を踏まえたこどもへの関わり方を学ぶことにより、こどもの行動変容することを目標とします。